

県民の皆さんとめざす姿

さまざまな主体との連携により、薬物乱用防止や動物愛護について地域全体で取り組んでいます。また、医薬品や医療機器などの品質管理体制の整備により、医薬品等の安全が確保された社会が構築されています。

現状と課題

- 薬物事犯の検挙者数は減少しておらず、大麻や合成麻薬の若年層による乱用も懸念されており、幅広い分野の方々と連携して薬物乱用防止に取り組んでいく必要があります。
- 平成 21 (2009) 年度に一般用医薬品のリスクに応じた分類とそれに伴う医薬品販売時の情報提供の強化などを盛り込んだ新たな医薬品販売制度が導入されました。それに加えて県民の皆さんの医薬品等に対する関心が高まっていることから、事業者による製造から販売までの適正な品質確保や県民の皆さんへの医薬品等に関する情報提供がなお一層求められています。
- 動物に関する苦情や相談件数は毎年 10,000 件以上とここ数年減少しておらず、減少に向けて関係団体と連携して動物愛護精神の高揚に向けた啓発活動に取り組む必要があります。

変革の視点

民間団体、学校、市町等と連携して薬物乱用防止活動を推進することで県民一人ひとりの薬物乱用を許さない意識の醸成を図るほか、あわせて協力団体等の拡大などに取り組むとともに動物愛護管理業務を推進するため、動物愛護管理センターの機能の充実等に取り組めます。

平成 27 年度末での到達目標

多くの関係機関等と連携して普及啓発活動を行うことにより、薬物乱用防止や動物愛護に対する意識が向上しています。また、医薬品や医療機器などの製造から販売に至る一貫した監視指導を行うことにより、安全な医薬品等が供給されています。

県民指標			
目標項目	現状値	目標値	目標項目の説明
薬物乱用防止講習会の参加者数(累計)	145,197 人 (22 年度)	395,200 人	県等が行う薬物乱用防止講習会に参加した人数

平成 24 年度の実行方向

- ① 薬物乱用防止に向けて民間団体、学校、市町等と連携して、また協力団体を拡大するなどにより、地域の実情に応じた薬物乱用防止活動を行います。
- ② 麻薬等を取り扱う施設の監視指導や自生しているけしの除去などを行うとともに薬物の再乱用防止対策などに取り組みます。
- ③ 医薬品製造業者や販売業者等に対する監視指導や医薬品等の試験検査を実施するとともに、県民の皆さんへ医薬品等の副作用や服用方法などに関する正しい知識の情報提供を進めます。
- ④ 生活衛生営業施設等の監視指導を行うとともにこれらの施設の自主衛生管理を推進します。

- ⑤ 市町や関係団体等と連携して動物愛護精神や適正飼養の啓発に取り組むとともに、動物愛護管理業務を拡充するため、動物愛護管理センターのあり方について、検討を行います。

## 主な事業

- ① 薬物「ダメ。ゼッタイ。」みえ県民運動推進事業（健康福祉部）  
【基本事業名：13401 薬物乱用防止対策の推進】  
予算額：(23) 6, 031千円 → (24) 5, 782千円  
事業概要：民間団体や関係機関と連携して、薬物乱用防止講習会などを実施するとともに「ダメ。ゼッタイ。」普及運動をはじめ麻薬・覚せい剤乱用防止運動等の啓発活動に取り組みます。
- ② 麻薬取締費（健康福祉部）  
【基本事業名：13401 薬物乱用防止対策の推進】  
予算額：(23) 2, 872千円 → (24) 2, 731千円  
事業概要：麻薬等を取り扱う施設の監視指導を行うとともに民間団体や関係機関と連携して自生しているけしの除去などに取り組みます。
- ③ 薬事審査指導事業（健康福祉部）  
【基本事業名：13402 医薬品等の安全な製造・供給の確保】  
予算額：(23) 9, 671千円 → (24) 8, 019千円  
事業概要：医薬品等の品質、有効性、安全性を確保するために製造業等の査察及び薬局・医薬品販売業等の監視、指導を行うとともに医薬品等の試験検査を実施します。

- ④ 生活衛生諸費（健康福祉部）  
【基本事業：13403 生活衛生営業の衛生水準の確保】  
予算額：(23) 691千円 → (24) 711千円  
事業概要：生活衛生営業施設等の監視指導を行うとともにこれらの施設の自主衛生管理を推進します。
- ⑤ 動物愛護管理推進事業（健康福祉部）  
【基本事業名：13404 人と動物との共生環境づくり】  
予算額：(23) 3, 645千円 → (24) 3, 008千円  
事業概要：犬や猫の譲渡事業や動物愛護教室の開催など関係団体等と連携した動物愛護精神の高揚に向けた啓発のほか、動物による危害発生防止に取り組みます。